

## NDL 東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」との連携について

NDL 東日本大震災アーカイブは、(1)他の震災関連デジタルアーカイブからメタデータやコンテンツを受け取り、NDL 東日本大震災アーカイブから検索できるようにするための機能と、(2)NDL 東日本大震災アーカイブで利用できるコンテンツやメタデータを提供する API<sup>70</sup>を備えています。

### (1) NDL 東日本大震災アーカイブにメタデータを提供する方法

あなたが構築した震災関連デジタルアーカイブのメタデータを、NDL 東日本大震災アーカイブに提供することにより、NDL 東日本大震災アーカイブからあなたの震災関連デジタルアーカイブが持つコンテンツやメタデータを検索・閲覧することができるようになり、より多くの人にあなたのコンテンツやメタデータを紹介することができます。

連携には、以下の二通りの方法があります。いずれの場合も、事前に国立国会図書館にご相談ください。

#### (a) API を使ってメタデータを提供する

あなたが構築した震災関連デジタルアーカイブのメタデータを NDL 東日本大震災アーカイブへ提供する場合は、メタデータを提供する API による連携が望ましいでしょう。

NDL 東日本大震災アーカイブは OAI-PMH<sup>71</sup> というメタデータ収集 API に対応しています。あなたの震災関連デジタルアーカイブに、OAI-PMH によるメタデータの出力機能を実装することで、NDL 東日本大震災アーカイブは、あなたの震災関連デジタルアーカイブのメタデータを自動的に収集し、検索対象とすることができます。

その際、出力するメタデータの形式を NDL 東日本大震災アーカイブで用いている NDL 東日本大震災アーカイブメタデータスキーマや連携用メタデータスキーマ（参考 7）に即した形とすることで、独自の形式での出力に比べて連携のための調整に要する手間や時間が少なく済みます。

#### (b) API を使わずにメタデータやコンテンツを提供する

API によってメタデータを提供することが難しい場合は、表計算ソフトウェア等を用い

---

<sup>70</sup> アプリケーション・プログラミング・インターフェース(Application Programming Interface)の略。NDL 東日本大震災アーカイブが持つ機能の一部を他の震災関連デジタルアーカイブが簡単に利用できるようにするための手順やプログラムでの記述方法などを示す。

<sup>71</sup> OAI-PMH とは、メタデータを交換するためのプロトコルの名称である。特定のアプリケーションに依存することなく、自動的にメタデータを交換できる利点がある。詳細は、<http://www.openarchives.org/OAI/openarchivesprotocol.html> を参照。

て、NDL 東日本大震災アーカイブが指定する CSV<sup>72</sup>や TSV<sup>73</sup>形式でメタデータを定期的に提供するという方法もあります。また、上記のメタデータとコンテンツを、NDL 東日本大震災アーカイブが指定する方法で圧縮し提供することで、メタデータだけでなくコンテンツを提供することもできます。

上記(a)および(b)の活用方法を下記概要図に示します ((a)を「メタデータ連携」、(b)を「コンテンツ・メタデータ提供」と呼びます)。

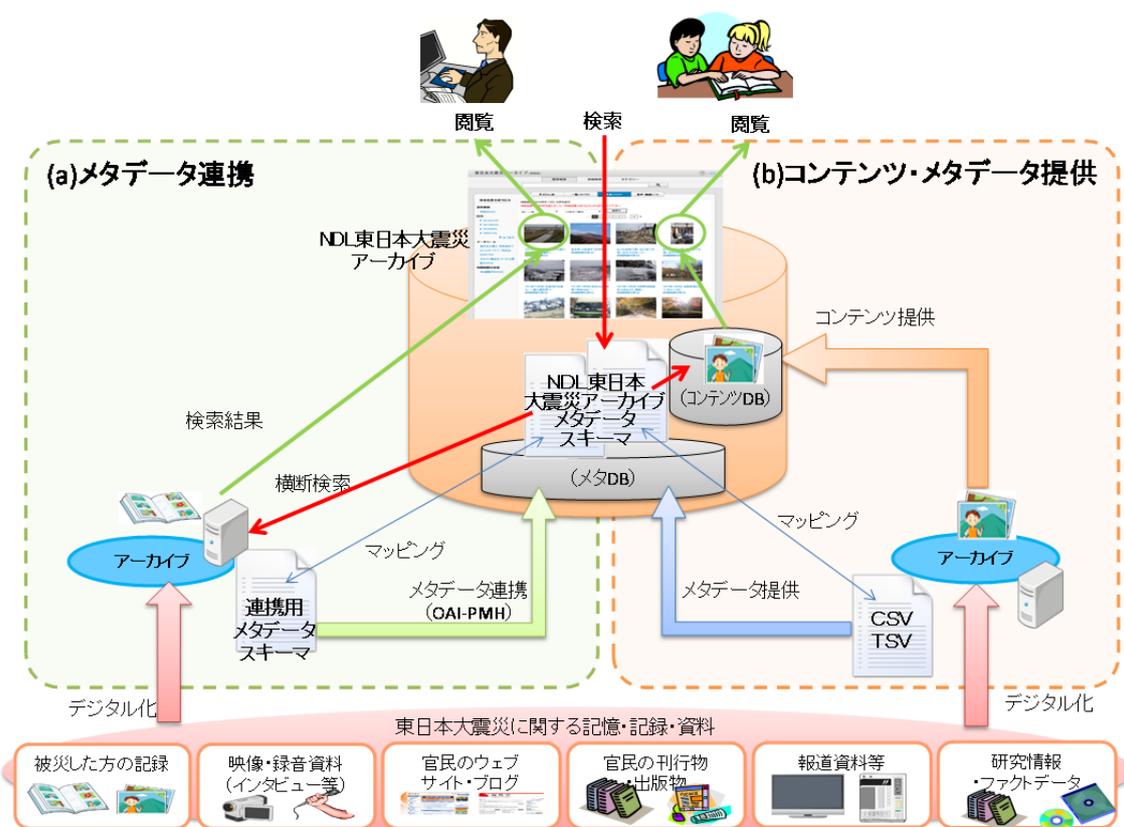


図1 メタデータ連携とコンテンツ・メタデータ提供

## (2) NDL 東日本大震災アーカイブのコンテンツやメタデータを利用する方法

NDL 東日本大震災アーカイブでは、コンテンツやメタデータを利用するための API を備えています。あなたの震災関連デジタルアーカイブあるいはこれから構築しようとしてい

72 データをカンマで区切って並べたファイル形式。主に表計算ソフトやデータベースソフトでデータを保存する時に使用する。

73 データをタブ文字で区切って並べたファイル形式。csv 形式と同様、主に表計算ソフトやデータベースソフトでデータを保存する時に使用する。

る震災関連デジタルアーカイブ（以下、両者を含むものとします。）を構築する際に、この API を用いることにより、あなたの震災関連デジタルアーカイブ上で NDL 東日本大震災アーカイブのコンテンツやメタデータを検索できるようになります。さらに、検索された NDL 東日本大震災アーカイブのコンテンツをあなたの震災関連デジタルアーカイブ上で表示できるようになります。具体的には、以下の 3 種類の API により実現できます<sup>74</sup>。

#### (a) 検索用 API

あなたの震災関連デジタルアーカイブが、SRU<sup>75</sup>あるいは OpenSearch<sup>76</sup>というプロトコルに対応していれば、NDL 東日本大震災アーカイブが提供する検索用の API を活用して、NDL 東日本大震災アーカイブのコンテンツやメタデータの検索し、取得することができます。

#### (b) メタデータハーベスト<sup>77</sup>用 API

あなたの震災関連デジタルアーカイブが、OAI-PMH というプロトコルに対応していれば、NDL 東日本大震災アーカイブが提供するメタデータハーベスト用 API を活用して、NDL 東日本大震災アーカイブに格納されたメタデータを取得することができます。取得したメタデータをあなたの震災関連デジタルアーカイブが保有するメタデータと合わせてインデックスを作成しておけば、①に比べて検索速度の向上が期待できます。

#### (c) 画像提供用 API

NDL 東日本大震災アーカイブが提供する画像提供用 API を活用して、あなたの震災関連デジタルアーカイブで、NDL 東日本大震災アーカイブが保持している提供用画像およびサムネイル画像を取得し、表示することができます。

上記(a)、(b)および(c)の活用方法を下記概要図に示します ((a)を「検索用 API」、(b)を「ハーベスト用 API」、(c)を「画像提供用 API」と呼びます)。

---

<sup>74</sup> API で利用可能なデータは、データの提供元から許諾を得られたデータに限られる。

<sup>75</sup> URL 形式で検索要求を受け付け、XML 形式で詳細なメタデータを出力する API。

<sup>76</sup> URL 形式で検索要求を受け付け、RSS 形式でメタデータを出力する API。NDL 東日本大震災アーカイブでは、SRU に比べて返戻される情報は少ないが、簡素な入力ですることができ、応答も速い。

<sup>77</sup> メタデータについては、第 5 章「1. メタデータとは」を参照。ハーベストとは、メタデータを収集することである。

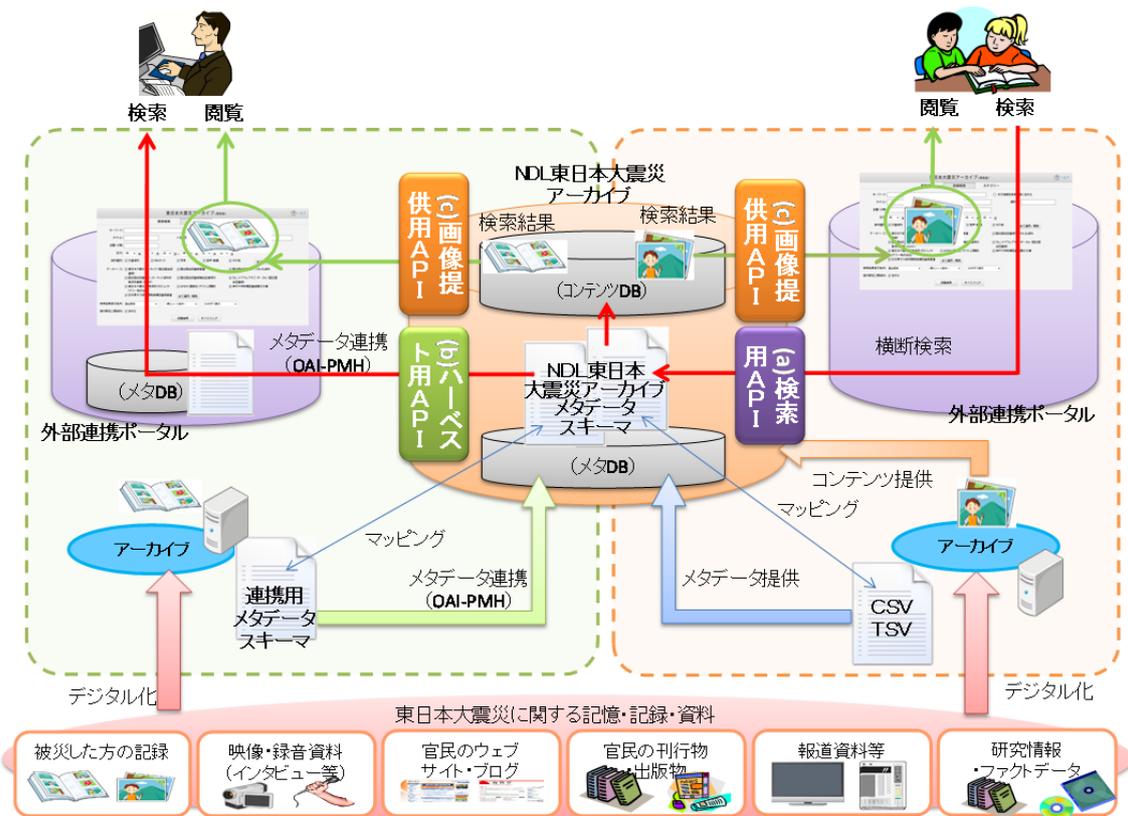


図2 NDL 東日本大震災アーカイブが提供する API の概要

### (3) NDL 東日本大震災アーカイブに関する情報

(1)及び(2)に関する情報(連携に関する情報、NDL 東日本大震災アーカイブが提供する API の利用方法、NDL 東日本大震災アーカイブメタデータスキーマ)は、以下の URL に掲載されています。

<http://kn.ndl.go.jp/static/api>

<http://kn.ndl.go.jp/static/metadata>

(NDL 東日本大震災アーカイブサイトにおいて最新掲載 URL を確認してください。)

補足 1) NDL 東日本大震災アーカイブとの連携については、外字が文字化けするなどの制限事項があります。

補足 2) NDL 東日本大震災アーカイブで取り扱うコンテンツの条件については、「参考 15 「NDL 東日本大震災アーカイブで取り扱うコンテンツの条件」」をご覧ください。